2026 年
9 月 16 日
NO.66

全国OB会ニュース

日本貨物鉄道労働組合
全国 OB 会
発行人　松村慎一

JR貨物労組全国OB会
第29回定期総会開催！

9 月 9 日、東京目黒さつきビルで、全国 OB 会第 29 回定期総会を開催しました。当日は前日の東海地区をはじめとした豪雨災害にもかかわらず、欠席者もなく定刻通りに議事が進められました。

冒頭司会の古谷幹事により、昨年 12 月 30 日に逝去されたＪＲ貨物労組 3 代目委員長緒方博恭氏に対する黙とうをささげ、議長に熊谷幹事を選出し開催されました。

挨拶に立った伊藤会長は、①緒方氏以外にも 1 年間で多くの OB 会員が亡くなったことに対する哀悼。②地震や豪雨災害への被災者に対するお見舞いと、地球温暖化に対する警鐘。③この間の OB 会の取り組み。④OB 会の自主・自立に向けて、などが述べられました。

また来賓としては中央本部より村上委員長・菊地副委員長・池田執行委員・根岸青年部長が出席され、村上委員長からは、①南長岡事故で負傷された組合員は、職場復帰に向けて現在リハビリを行っている。②会社は訓練と称してサプライズテストを実施、現在労使協議しているが平行線となっている。③検修基地効率化に対する取り組み。④存立基盤の確立に向けて第 2 の国鉄改革と位置付けて取り組んでいく、などが述べられました。

各地本からの発言においては、高齢化する OB 会員と減少傾向にある会員数の歯止めをいかに取り組んでいくのか、各地本の会員数の現状とともに報告されました。この課題は各地本共通した課題であり、引き続き現退一致して取り組むことが確認されました。

まとめとして松村事務局長より、①現役の応援団として奮闘していく。②2033 年に 65 歳定年制が確立するが、OB 会の在り方含めて本部と議論していく。③年金・介護・社会福祉なども OB 会の課題として取り組む、ことが述べられました。

また今回の総会で長年 OB 会役員を務めていただいた伊藤さんが退任し、新たに事務局長だった松村さんが会長に就任しました。

他にも幹事、会計監査も交代し新たな体制が確立されました。長い間役員を務めていただいた皆さん、大変お疲れ様でした。

総会の最後に、松村新会長の団結ガンバローで終了しました。

役　職	氏名	職　場
顧　問	伊藤憲治	新鶴見機関区
会　長	松村慎一	黒磯機関区
副会長	並木　明	大井機関区
〃	定国　明	岡山機関区
事務局長	髙木康之	大井機関区
幹　事	大脇一久	札幌機関区
〃	阿部　進	秋田総鉄
〃	山崎　智	大井機関区
〃	古谷隆彦	稲沢機関区
〃	林田則夫	吹田機関区
〃	高牟禮利博	門司機関区
〃	池田　甫	隅田川機関区
会計監査	境　将光	関東支社
〃	藤原一二	新鶴見機関区